

検証報告の提言に関する外部評価の進め方について

1. 「令和元年6月死亡事例に係る検証報告書」の提言における「外部評価」の位置づけ

児童福祉部会から、令和元年6月死亡事例における支援経過の問題・課題を踏まえ受けた提言の中で、本市がこれまでに受けた検証報告書の提言に対する取組についての評価（以下、「外部評価」）の必要性について言及されている。

「令和元年6月死亡事例に係る検証報告書」 P57
(7) 過去の検証報告書の進捗状況についての検証機会の必要性
 (中略)
 これまで複数回の提言が出されながら、市では、本事例の発生前に、提言に対する実施状況についての自己評価、外部評価の機会は持たれていなかった。
今後は、自己評価はもとより、市内外の専門家の知見も活用して、報告書の取組状況について評価をしっかりと行うべきである。
 (中略)

2. 令和2年11月12日開催の児童福祉部会における決定事項

外部評価に当たっては、次のとおり進めることを決定した。

項目	決定内容
評価組織	○児童福祉部会が評価組織となり、外部評価を行う。
評価の進め方	○令和3年5月に開催予定の「札幌市児童虐待防止対策推進本部会議」において、検証報告の提言を受けた具体的な取組内容、実施状況、自己評価等について整理される予定。 ○6月頃に開催予定の「児童福祉部会」において、取組状況等の報告を行い、それ以降、評価を行う。
評価手法	○検証における手法と同じように、児童福祉部会の中に評価ワーキンググループを設置し、具体的に評価を行う。
評価ワーキンググループ委員	○検証に携わった方々に加え、携わっていない方や札幌市外の専門家などにも就任していただく。

3. 外部評価に係る評価ワーキンググループ委員（敬称略・児童福祉部会委員以下五十音順）

氏名	所属	分野
まつもと いちろう 松本 伊智朗 【児童福祉部会長】	北海道大学大学院教育学研究院教授	社会福祉
たかはし つかさ 高橋 司 【児童福祉部会委員】	公事宿法律事務所弁護士	法律
すずき ひでひろ 鈴木 秀洋 【臨時委員】	日本大学危機管理学部准教授	児童福祉（地域連携）
なかいち いくみ 中板 育美 【臨時委員】	武蔵野大学看護学部教授	母子保健
ふじわら りさ 藤原 里佐 【臨時委員】	北星学園大学短期大学部教授	家族福祉
ますざわ たかし 増沢 高 【臨時委員】	子どもの虹情報研修センター研究部長	研修

4. 外部評価に係る今後のスケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月
児童虐待防止 対策推進 本部会議	第1回 本部会議 ・取組内容 ・実施状況 ・自己評価				
子ども・ 子育て会議 児童福祉部会		・取組等の報告		・評価報告案の 決定	
評価ワーキング グループ		第1回 ワーキンググループ ・取組等の報告	第2回 ワーキンググループ ・取組等の評価	第3回 ワーキンググループ ・評価報告案の 策定	
子ども・ 子育て会議					・児童福祉部会から 評価報告